

# 柏の葉コミュニティエリア設置計画



平成31年3月

柏市

## 目 次

1	はじめに	1
2	本計画の目的及び位置づけ	2
	(1)目的	2
	(2)位置づけ(上位計画等)	2
	(3)合意形成	3
3	計画の背景	4
4	計画期間	5
5	現状	5
	(1)柏市のコミュニティ施策	5
	(2)田中地域の現状	8
	(3)民生委員児童委員協議会エリア分割	1 2
6	柏の葉コミュニティエリア設置の必要性と区域案	1 3
	(1)田中地域の課題	1 3
	(2)エリア新設の必要性	1 4
	(3)区域案について	1 5
	(4)区域案①②における市の主な施策への影響	2 0
7	田中・柏の葉コミュニティエリア検討会議での検討	2 2
	(1)第1回検討会議	2 2
	(2)第2回検討会議	2 2
	(3)第3回検討会議	2 3
8	方針	2 4
	(1)柏の葉コミュニティエリアの設置	2 4
	(2)ふるさと協議会の発足	2 5

(3) 近隣センターの整備	2 6
<u>9 今後の課題</u>	<u>2 6</u>
(1) 柏の葉コミュニティエリア設置における課題	2 6
(2) 今後の地域づくりのあり方	2 7
<u>1 0 今後の進め方</u>	<u>2 8</u>
(1) ふるさと協議会の設立	2 8
(2) コミュニティエリア移行	2 8
(3) 近隣センター等の整備	2 9
(4) 行程表	2 9
<u>1 1 資料</u>	<u></u>
(1) 検討の経緯	3 0
(2) 田中・柏の葉コミュニティエリア検討会議	3 3
(3) パブリックコメント結果	3 6

# 1 はじめに

---

本計画は、市内のコミュニティエリアについて、田中コミュニティエリアを分割し新たに21ヶ所目として「柏の葉コミュニティエリア」を設置し、併せて地域活動の担い手の組織化（ふるさと協議会）と活動拠点（近隣センター）の整備を方針化するものです。

柏市第五次総合計画をはじめとした様々な計画の策定、施策の立案やマネジメントを地域ごとに行う際には、地域特性により市域を「北部ゾーン」「中央ゾーン」「南部ゾーン」「東部ゾーン」の4区域に分け、各地域の特性を活かしたまちづくりを実施しています。

それぞれのゾーンは、昭和50年代に設定されたコミュニティエリアを基礎としています。コミュニティエリアの一つである田中地域は、面積が約17.26㎢と他より広く設定されましたが、当初の人口は他のエリアとほぼ均衡を保っていました。

平成17年(2005年)につくばエクスプレスが開通し、市街地整備の進展に伴い、田中地域の人口は、平成30年度(2018年)には、市内コミュニティエリアの平均約20,000人に対して45,000人と約2.2倍となりました。柏市将来人口推計においても、2025年度には約60,000人超と今後の大幅な人口増加が想定されています。

これまで、コミュニティエリアの設定については、中学校区をめどに設定していた経緯もあり、平成30年4月の柏の葉中学校開校を一つの契機とし、人口・面積ともに過大となった田中コミュニティエリアの分割について、地域特性を反映したまちづくりやきめ細やかな市民サービスの提供のため、地域住民と行政職員とで検討を行いました。

その検討の結果として、本計画を取りまとめたものです。



## 2 本計画の目的及び位置づけ

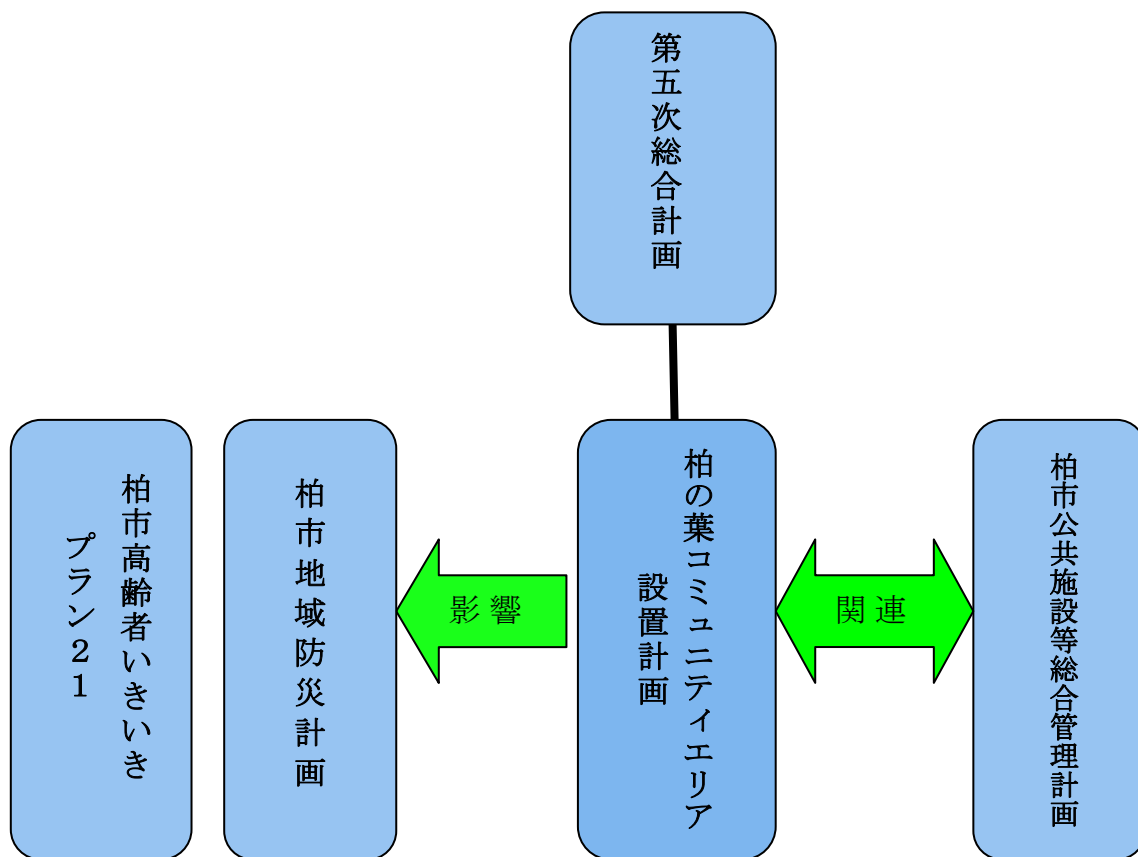
### (1) 目的

柏市のコミュニティエリアの中で田中地域に含まれている柏の葉地域について、新たなコミュニティエリアの設置計画をするもの。

### (2) 位置づけ(上位計画等)

地域特性を活かしたまちづくりを推進し、コミュニティエリアにおける地域活動の活性化や地域意識の醸成を促すため、第五次総合計画の部門計画に位置付けます。

なお、既存のア～エ計画との関係は図のとおり。



ア 柏市第五回総合計画

計画名	概要	計画内容とコミュニティエリアとの関わり
柏市第五回総合計画 (前期基本計画)	市政における最上位計画	コミュニティエリアをベースとし、「北部」「中央」「南部」「東部」の4ゾーンに分けて、地域特性を活かしたまちづくりをめざすとしている。

イ 柏市公共施設等総合管理計画「基本方針編」

計画名	概要	計画内容とコミュニティエリアとの関わり
柏市公共施設等 総合管理計画 「基本方針編」	公共施設の現 状と課題, 今後 の管理の基本 的な考え	「第4章類型別方針」の中で施設類型ごとの考え方を示しており, その中で近隣センターは, コミュニティエリアごとに1箇所を維持するとしている。

ウ 柏市地域防災計画

計画名	概要	計画内容とコミュニティエリアとの関わり
柏市地域防災計画	災害時に実施 すべき対策	地区災害対策本部をコミュニティエリアごと(近隣センター)に設置している。

エ 第7期柏市高齢者いきいきプラン21

計画名	概要	計画内容とコミュニティエリアとの関わり
第7期柏市高齢者 いきいきプラン21	高齢者施策 (介護・福祉)	コミュニティエリアを「小圏域」とし, 「高齢者を支える各種の地域活動を促進する単位」としている。重点施策「地域での支えあい活動の推進」にあたっては, 地域支えあい推進員をコミュニティエリアごとに配置している。

(3) 合意形成

本計画は, 「田中・柏の葉コミュニティエリア検討会議」での結論を踏まえて策定します。

### 3 計画の背景

---

田中地域は、約17.26㎢という広大な地区面積を有し、24の町会等が存在しており、平成17年8月(2005年)に開通したつくばエクスプレスの2駅を中心に市街地整備が進展している地域です。

地区の西部及び南部には、柏の葉キャンパス駅を中心に大規模商業施設や高層マンション等が立地し、大学、研究機関も集積しており、特に柏の葉キャンパス駅周辺においては、公・民・学連携により策定された「柏の葉国際キャンパスタウン構想」に基づき、計画的なまちづくりが進められ、定住人口も順調に伸びています。この人口増に伴い、平成30年4月(2018年)に柏の葉中学校が開校しました。

これまで、コミュニティエリアを設定するに際は、中学校区単位でコミュニティエリアを設定していた経緯もあることから、柏の葉中学校の開校を1つの契機とし、田中コミュニティエリアについて見直しを行うこととしました。

なお、柏の葉コミュニティエリア設置計画では、昭和56年に新市計画のコミュニティエリアの設定に示している当時の考え方を踏襲しコミュニティエリアの設定に統一性を保ちました。

#### 柏市新総合計画(昭和56年4月抜粋)

- ・地域住民相互の連帯感や自治意識を育て、またこれに応じた決め細かなサービスをするために、地域特性や住民意識、適正な人口、面積を勘案して区分した19地区(※1)の地区整備を進める。
- ・市民の郷土愛や連帯意識を高め、またふるさとづくり運動を展開するうえで必要な推進組織(※2)やリーダーを育成し充実を図る。
- ・各地区には、地域の実状、コミュニティ施設の適正配置から、行政機能を整える規模の大きな「A型近隣センター」及びやや規模を狭め、行政機関を入れない「B型近隣センター」を整備する。(※3)

※1 現在20地域として整備(旧柏地域17, 旧沼南地域3)

※2 現ふるさと協議会

※3 出張所設置がA型, 出張所が設置されていないものがB型

## 4 計画期間

平成31年度からおおむね10年間を本計画の対象期間とします。

## 5 現状

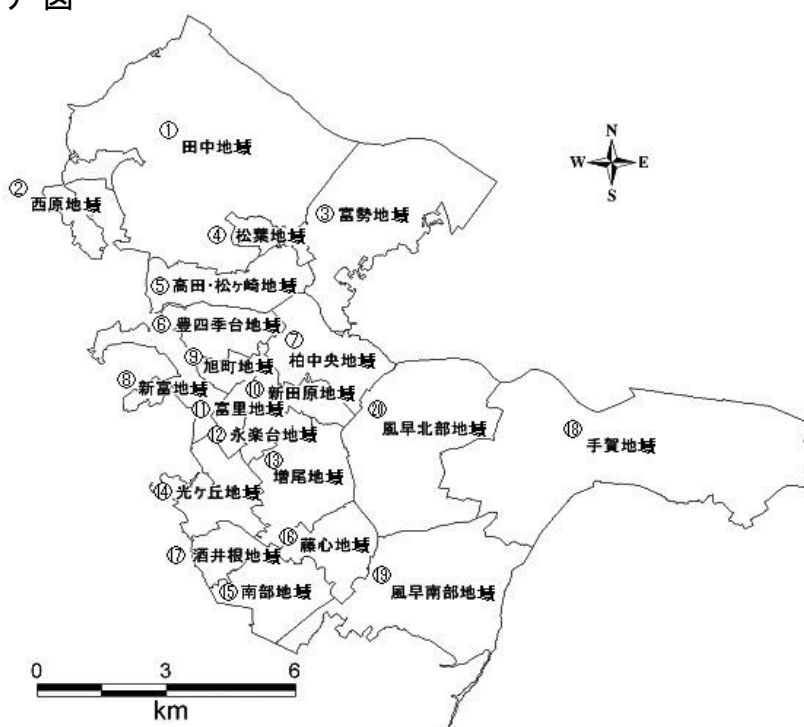
### (1) 柏市のコミュニティ施策

人口増により発展してきた柏市では、昭和55年より地域特性を生かし、心のふれ合う住みよいまちづくり(第2の故郷)を市民と行政が一体となって推進していく取り組み「ふるさと運動」を推進してきました。このふるさと運動を推進し、新旧住民の連帯感や地域の自治意識向上を図り、これに応じたきめ細かなサービスを実施することとしています。

これらを踏まえ、地域特性や住民意識、適正な人口、面積等を勘案して、市内を20のコミュニティに区分し(平成17年合併前は17コミュニティ)地域の交流と活性化を図るための拠点施設として「近隣センター」を整備しました。

また、市民活動の母体となる「ふるさと協議会」が住民で組織され、夏祭り、文化祭、防犯防災、保健福祉、環境美化等地域づくり活動が近隣センターを拠点に行われています。

### ア 全市エリア図





## イ 日常圏域とコミュニティエリア

地域区分(柏市の生活圏域について)		
大圏域	4地域	施策の立案やマネジメントを行う際に用いる地域区分
中圏域	7地域	介護サービス基盤整備を核とした7つの地域区分(日常生活圏域)
小圏域	20地域	市内に20ある「ふるさと協議会」に係るコミュニティ区域

圏域		
大	中	小
北部	北部1	田中 西原 ●
	北部2	富勢 松葉 高田・松ヶ崎
中央	中央1	豊四季台 新富 旭町
	中央2	柏中央 新田原 富里 永楽台
南部	南部1	増尾 南部 藤心
	南部2	光ヶ丘 酒井根
東部	東部	手賀 風早北部 風早南部

## ウ 各コミュニティエリアの規模

平成29年4月1日現在

	面積(km <sup>2</sup> )	人口(人)	町会数	町会加入世帯数
田中	17.26	45,369	24	11,297
西原	1.62	17,160	17	5,368
富勢	5.05	24,041	20	7,234
松葉町	1.18	11,412	18	4,282
高田・松ヶ崎	4.08	18,827	14	6,533
豊四季台	2.8	30,508	14	9,481
旭町	1.15	12,085	9	4,197
新富	3.11	21,951	9	6,383
柏中央	3.28	26,742	22	7,932
新田原	1.25	15,115	14	4,271
永楽台	1.2	11,613	7	3,883
富里	1.66	20,122	9	5,500
増尾	4.39	21,453	19	6,675
光ヶ丘	3.33	34,062	18	10,587
酒井根	1.86	12,506	9	3,724
藤心	3.14	14,774	15	4,736
南部	3.77	23,281	19	8,520
風早南部	10.72	22,681	7	6,741
風早北部	8.99	25,615	23	7,392
手賀	22.28	4,325	9	1,027
合計	102.12	413,642	296	125,763
平均	5.106	20,682.10	14.8	6,288.15

資料: 柏市社会福祉協議会平成29年地域活動マップより

田中地域は、農業用地も含め手賀地域について2番目の面積であり、各地域の平均面積の3.3倍となっています。

また、人口は20地域で1番多く、各地域の平均人口の約2.2倍と面積、人口共に大きい地域です。

## エ ふるさと協議会及び近隣センターの設置

ふるさと協議会			近隣センター名		
地域	名称	発足時期	センター名	設置時期	種別
田中地域	田中地域ふるさと協議会	S54.7	田中近隣センター	S53.4.1	A
			(北部近隣センター)	H1.4.1	C
			(柏ビレジ近隣センター)	S55.4.1	C
西原地域	柏市西原地域ふるさと協議会	S56.5	西原近隣センター	S53.4.1	A
富勢地域	柏市富勢地域ふるさと協議会	S56.5	布施近隣センター	S54.4.1	B
			(根戸近隣センター)	S43.4.1	C
松葉町地域	松葉町地域ふるさと協議会	S59.9	松葉近隣センター	S62.4.1	A
高田・松ヶ崎地域	柏市高田・松ヶ崎地域ふるさと協議会	S55.8	高田近隣センター	S57.4.1	B
豊四季台地域	柏市豊四季台地域ふるさと協議会	S54.4	豊四季台近隣センター	S53.4.1	A
柏中央地域	柏市柏中央地域ふるさと協議会	H1.11	柏中央近隣センター	H11.4.1	B
新富地域	柏市新富地域ふるさと協議会	S56.1	新富近隣センター	S56.4.1	B
旭町地域	柏市旭町地域ふるさと協議会	S58.11	旭町近隣センター	H7.4.1	B
新田原地域	柏市新田原地域ふるさと協議会	S56.5	新田原近隣センター	S59.4.1	B
富里地域	柏市富里地域ふるさと協議会	S56.11	富里近隣センター	S57.4.1	B
永楽台地域	柏市永楽台地域ふるさと協議会	S55.4	永楽台近隣センター	S54.4.1	B
増尾地域	柏市増尾地域ふるさと協議会	S55.11	増尾近隣センター	S55.4.1	A
南部地域	柏市南部地域ふるさと協議会	S54.5	南部近隣センター	S53.4.1	A
藤心地域	柏市藤心地域ふるさと協議会	S61.5	藤心近隣センター	S61.4.1	A
光ヶ丘地域	柏市光ヶ丘地域ふるさと協議会	S55.11	光ヶ丘近隣センター	S56.4.1	A
酒井根地域	柏市酒井根地域ふるさと協議会	S63.4	酒井根近隣センター	H1.4.1	B
風早北部地域	柏市風早北部地域ふるさと協議会	H19.7	沼南近隣センター	S53.4.1	B
風早南部地域	柏市風早南部地域ふるさと協議会	H18.2	高柳近隣センター	H6.4.1	A
手賀地域	柏市手賀地域ふるさと協議会	H19.4	手賀近隣センター	H29.4.1	B

ふるさと協議会の設立と近隣センター整備(出張所機能を有する近隣センター9館(A館)、出張所機能を有しない近隣センター14館(B・C館))については、概ね同時期に設立及び整備がなされてきました。

なお、手賀近隣センターについては、平成29年4月に「手賀近隣センター」が整備されたことで、市内20のコミュニティエリアに地域活動の拠点となる「ふるさと協議会」及び「近隣センター」が設立、整備されました。

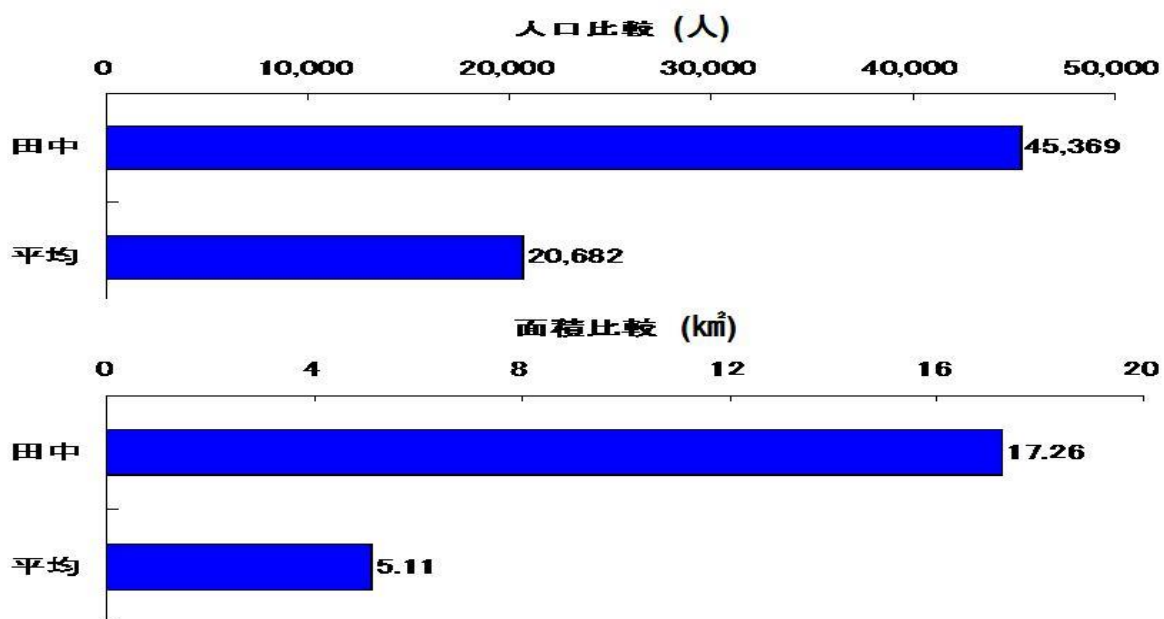
オ コミュニティエリアごとに行われる市の主な施策

分野	施策	取組
こども 未来	より良い教育のための 体制・環境の整備 子どもの育ちと子育て を支える環境の充実	地域と学校が一体となった教育の 推進 子育て・子育て・親育ちのための 地域づくり
健康・ サポート	健康寿命の延伸 医療介護及び支援体制 の充実	フレイル対策の推進 高齢者の社会・地域参加の促進 地域包括ケアシステムの推進 認知症対策の推進
地域の ちから	地域への参加と活動の 促進 生涯学習の推進	地域コミュニティの活性化 地域や社会の課題に対応した学習 支援
安全・安心	防災力の向上 防犯力の向上	地域防災力の向上 防犯力の向上 災害に備えた体制強化

(2) 田中地域の現状

平成 29 年 4 月 1 日現在

ア 田中地域の人口，面積



## イ 田中地域の町会の状況

平成30年4月1日現在

町会名	加入世帯数	町会名	加入世帯数
花野井町会	2,000	山高野町会	77
東花野井町会	209	大青田町会	192
花山町会	577	東十余二町会	850
中花崎町会	400	柏の葉一丁目自治会	184
柏ビレジ自治会	1,582	柏の葉二丁目町会	355
大室町会	630	柏の葉三丁目町会	340
中野台町会	285	柏の葉キャンパス一番街町会	977
柏市若柴町会	530	柏の葉キャンパス二番街町会	892
若柴入谷津町会	42	レクセル柏たなかサニープレイ ス管理組合	29
新若柴町会	326	ラプリマチッタ自治会	74
正連寺町会	30	ラ・カンパーニャ自治会	60
小青田町会	260	合計	11,297
船戸町会	396	柏の葉キャンパスゲートタワー (イースト)管理組合(※)	347

資料：平成30年度世帯数等報告書より

※柏の葉キャンパスゲートタワー(イースト)管理組合は、町会等の組織化はされていませんが、管理組合がその機能を担っており、平成31年度中に町会等の設立を目指しています。

## ウ 今後の人口推計

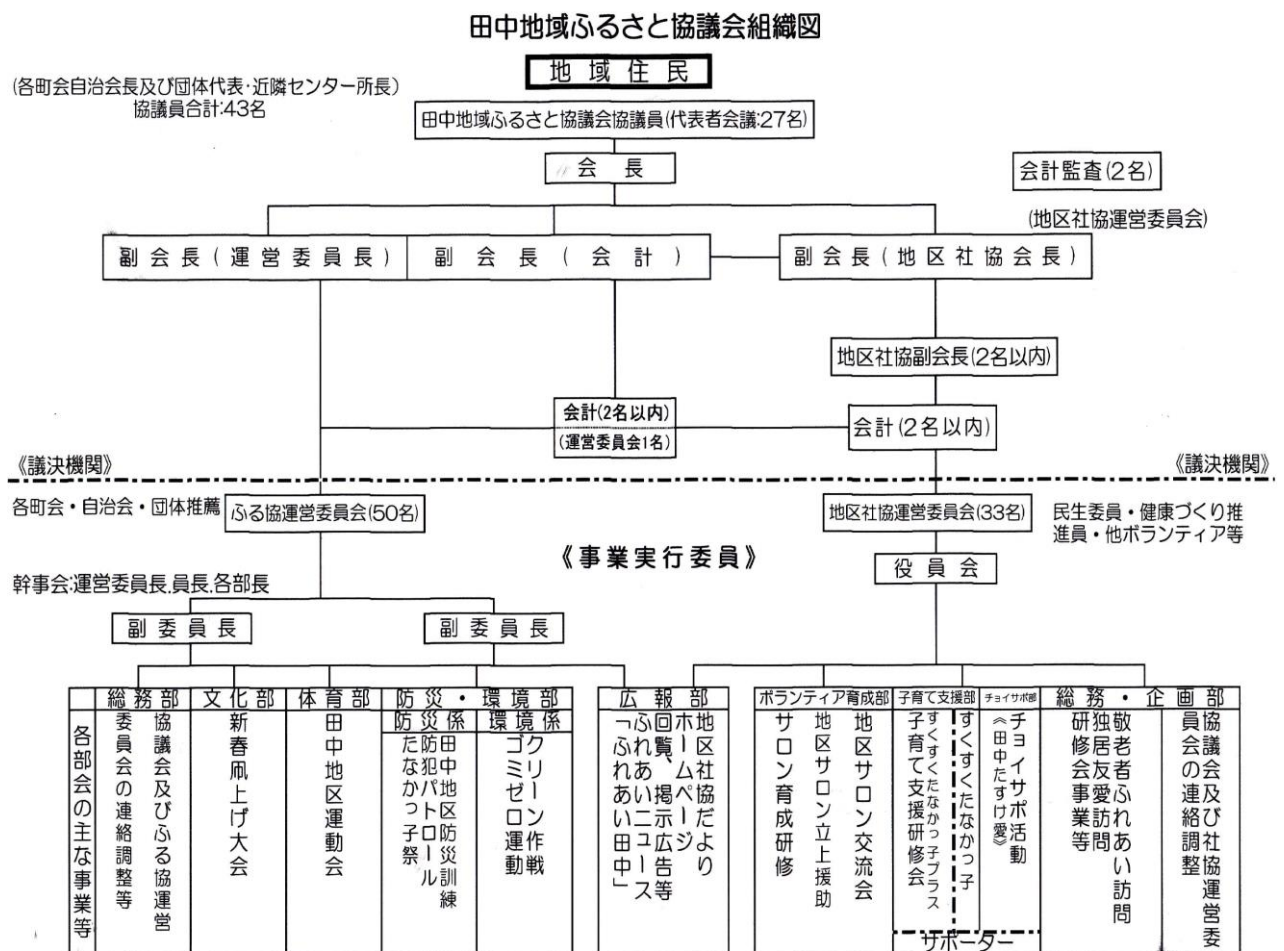
地域	実績 ←			→ 推計							
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
20コミュニティエリア計	409,052	412,384	415,911	418,601	421,159	423,651	426,008	428,223	430,323	432,323	434,176
西原地域	17,091	17,158	17,203	17,207	17,204	17,198	17,179	17,149	17,102	17,045	16,980
田中地域	43,100	44,190	46,455	48,088	49,755	51,452	53,186	54,952	56,739	58,571	60,442
富勢地域	24,229	24,085	24,041	23,847	23,633	23,417	23,185	22,943	22,698	22,438	22,163
松葉地域	12,256	12,041	12,038	11,924	11,811	11,687	11,559	11,428	11,289	11,148	10,996
高田・松ヶ崎地域	18,012	18,207	18,222	18,347	18,466	18,581	18,681	18,780	18,870	18,951	19,019
豊四季台地域	28,902	29,199	29,454	29,648	29,838	30,021	30,184	30,338	30,482	30,611	30,730
新富地域	22,649	22,903	23,112	23,334	23,551	23,767	23,980	24,180	24,388	24,587	24,777
旭町地域	12,163	12,571	12,693	12,889	13,087	13,281	13,478	13,667	13,860	14,055	14,244
柏中央地域	25,926	26,094	26,406	26,660	26,907	27,155	27,397	27,640	27,874	28,107	28,331
富里地域	19,903	20,304	20,572	20,762	20,944	21,129	21,311	21,489	21,666	21,841	22,015
新田原地域	13,396	13,696	13,965	14,228	14,481	14,741	15,006	15,274	15,537	15,807	16,064
永楽台地域	12,940	12,965	12,924	12,911	12,894	12,868	12,835	12,793	12,750	12,695	12,627
光ヶ丘地域	33,368	33,684	33,745	33,875	33,990	34,087	34,167	34,231	34,270	34,305	34,319
増尾地域	22,389	22,466	22,440	22,364	22,274	22,168	22,047	21,911	21,757	21,591	21,411
風早北部地域	25,419	25,615	25,585	25,571	25,543	25,509	25,464	25,400	25,323	25,226	25,116
酒井根地域	12,547	12,518	12,452	12,431	12,400	12,360	12,311	12,252	12,188	12,115	12,031
南部地域	23,723	23,685	23,728	23,671	23,598	23,509	23,400	23,275	23,129	22,973	22,805
藤心地域	14,022	13,886	13,772	13,665	13,548	13,434	13,311	13,178	13,045	12,899	12,754
風早南部地域	22,576	22,748	22,831	22,976	23,101	23,221	23,330	23,420	23,501	23,575	23,638
手賀地域	4,441	4,369	4,273	4,205	4,137	4,068	3,997	3,923	3,852	3,784	3,712

資料：2018年4月柏市の将来人口推計より

市内20地域のうち田中地域を除いては，横這いもしくは，人口減少傾向にあります。

しかし，田中地域は，土地区画整理事業による基盤整備により民間宅地開発の活性化が期待され，今後の柏市の人口推計においても他の地域が横這いもしくは減少傾向の中，約1.25倍と20地域の中でも突出して人口の増加が見込まれます。

## エ 田中地域ふるさと協議会の概要（組織・活動）



資料：田中地域ふるさと協議会ホームページより

## オ ふるさと協議会以外の広域組織

田中地域には現在、「田中地域ふるさと協議会」のほかに、柏の葉一丁目自治会、柏の葉二丁目町会、柏の葉三丁目町会から構成する「柏の葉三町会連絡会」と柏の葉キャンパス一番街町会、柏の葉キャンパス二番街町会、柏の葉キャンパスゲートタワー管理組合とUDCK等から構成する「柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会」が田中地域ふるさと協議会とは別に広域組織として地域づくりに取り組んでいます。

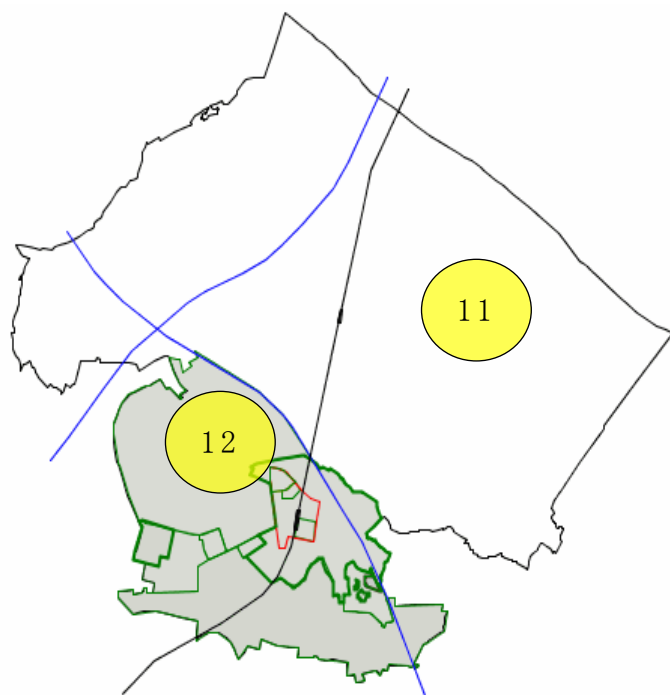
組織名称	柏の葉三町会連絡会
構成	柏の葉一丁目自治会
	柏の葉二丁目町会
	柏の葉三丁目町会
組織名称	柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会
構成	柏の葉キャンパス一番街町会
	柏の葉キャンパス二番街町会
	柏の葉キャンパスゲートタワー管理組合
	UDCK(※) 三井不動産株式会社ほか

※ 柏の葉アーバンデザインセンター

### (3) 民生委員児童委員協議会エリアの分割

民生委員児童委員協議会は、市内22地区に設置されています。

平成17年8月(2005年)のつくばエクスプレス開業に伴い、田中地区の人口増が確実なことから、平成25年(2013年)12月、田中地区民生委員児童委員協議会を分割し、新たに田中・柏の葉地区民生委員児童委員協議会を設置しました。その区域は平成24年度(2012年)に開校した柏の葉小学校の学区を中心に隣接した9町会となっています。



1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
柏	新	永	富	豊	豊	旭	新	高	松	田	田	西	富		藤	光	南	酒	南	風	風
中	田	楽	四季	四季						中	中			土	ヶ	ヶ	井		早	早	
央	原	台	里	西	台	町	富	田	葉	中	葉	原	勢		心	丘	丘	根	部	部	部
地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会	地区民生委員児童委員協議会

なお、「田中・柏の葉地区民生委員児童委員協議会」の名称については、古くから地域に住む方に馴染みのある「田中」の名称を残し、独立ではなく分割とした経緯があります。

## 6 柏の葉コミュニティエリア設置の必要性和区域案

### (1) 田中地域の課題

#### ア 人口、面積の過大さ

平成20年と平成30年の田中地域の字別人口を比較すると、田中地域全体は33,595人から47,737人へ増加し増加率1.4倍なのに比べ、柏の葉地域（若柴，柏の葉一～五丁目，十余二，中十余二）は，12,799人から22,164人へ増加し増加率は1.7倍となっています。平成20年度は，田中地域の人口のうち，柏の葉地域の人口の占める割合は38%でしたが，平成30年度には46%まで増えています。このように，田中地域の人口の増加は，柏の葉地域の人口が大きく影響しています。

市は，前述のとおり，「健康・サポート」「安全・安心」等の分野で，コミュニティエリアごとの施策展開を推進しています。広大なコミュニティエリアのなか，さらに人口増加の影響が大きくなると，例えば，災害時等には田中地区災害対策本部（田中近隣センター）1箇所で対応する体制となり，市民サービスの提供に支障をきたしかねない状況となっています。

#### イ 地域特性や住民意識の違い

田中地域において，船戸，山高野，小青田等は，利根運河に沿い古くから栄えた地域と言われています。十余二は明治初頭に開墾された地域です。他方，柏の葉一丁目及び三丁目に町会等が設立されたのは昭和60年頃であり，柏の葉キャンパス一番街は平成21年に建設されています。

このような背景の中で，地域への帰属意識の違いや共助の取り組みへの認識の違い等はやむをえないことと思われま

す。また，近年に居住者が増えた地域は，年齢構成が比較的若い世代が多く，例えば，特性の異なる地域の高齢化率等をきめ細かく把握し，地域ごとの施策に反映させることも必要と思われま



## ウ 田中地域ふるさと協議会への未加入町会

このような地域の歴史的背景の違いや田中近隣センターへの物理的な距離により、柏の葉一丁目自治会，二丁目町会，三丁目町会は，田中地域ふるさと協議会から脱会した経緯があります。柏の葉キャンパス一番街町会，二番街町会，ゲートタワー管理組合は当初より加入していません。

ふるさと協議会は，地域における共助のまちづくりの母体であると同時に，地域と行政の橋渡しとして，地域にとっても必要不可欠な組織です。当該地域において，ふるさと協議会を発足できる環境づくりが必要です。

## (2) エリア新設の必要性

人口増により発展してきた柏市では，昭和55年より地域特性を生かし，心のふれ合う住みよいまちづくり（第2の故郷）を市民と行政が一体となって推進していく取り組み「ふるさと運動」を実施し，地域住民相互の連帯感や自治意識を育て，これに応じたきめ細やかな行政サービスをするために，地域特性や住民意識，適正な人口，面積等を勘案し地区整備を進めてまいりました。

また，コミュニティエリアは，市民の郷土愛や連帯意識を高め，ふるさとづくり運動を展開するうえで必要な推進組織やリーダーを育成し，充実を図ることも目的としており，コミュニティエリアを中心とした見守り活動，子育て支援の充実を図ることなどが期待されています。

なお，コミュニティエリアの設定については，これまで中学校校区に1コミュニティエリアを設定していた経緯もあり，平成30年4月の柏の葉中学校開校を一つの契機とし，人口・面積ともに過大となった田中コミュニティエリアについて，今後，施策展開を円滑に実施し，きめ細やかなサービス提供を実施していくためには，柏の葉コミュニティエリアを設置することが求められています。

### (3) 区域案について

区域案については、案①〈キャンパス駅周辺〉，案②〈国道16号西〉の2案を提案しました。

当初，既に「田中・柏の葉地区民生委員児童委員協議会」が活動していた区域である案②を新たなコミュニティエリアとすることが，地理的にも活動実態等からも妥当と思われました。

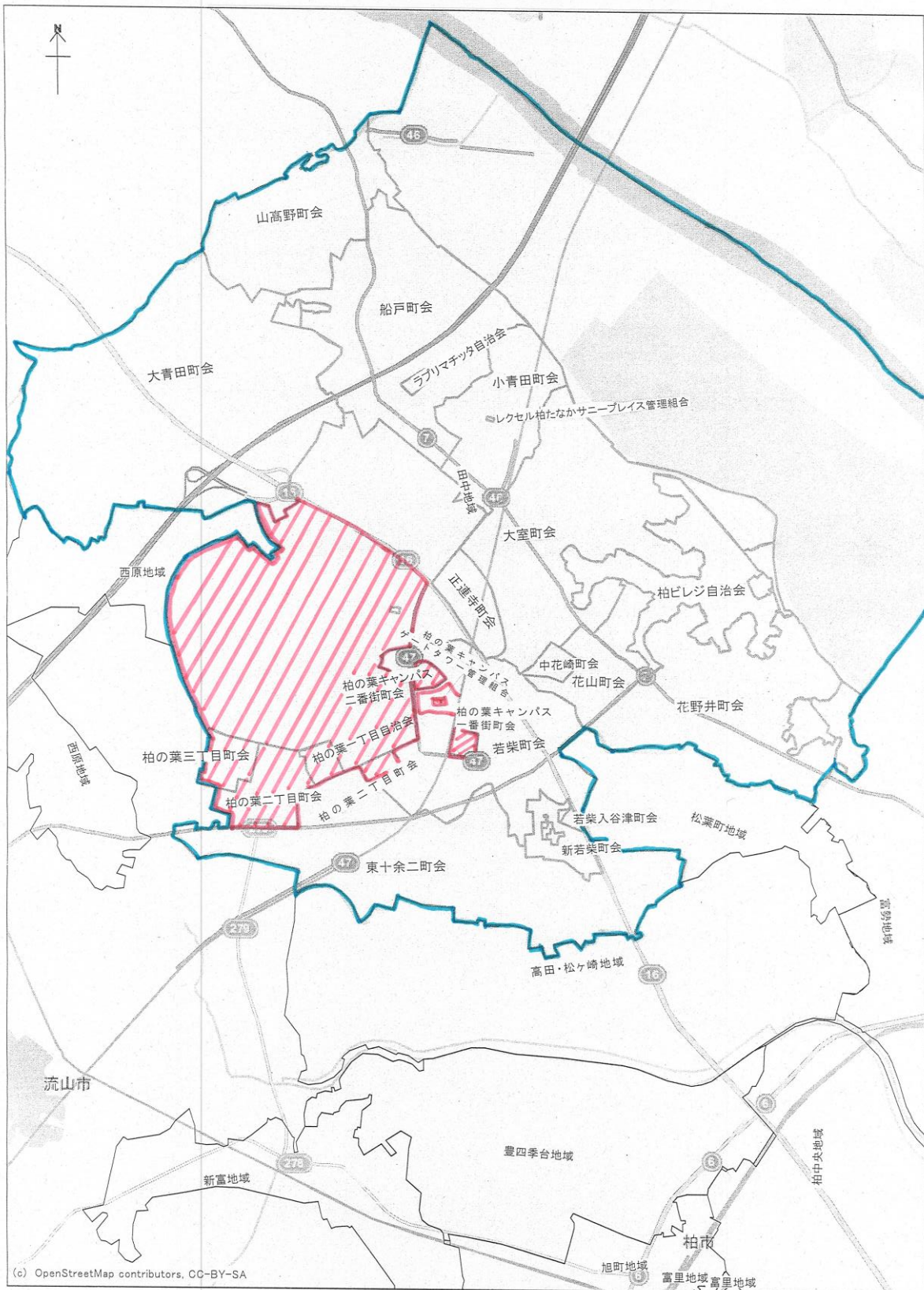
しかし，同区域内の町会役員等の意見聴取の中で，これまでの歴史的背景を踏まえ，今後の活動の継続を考えていきたいというご意見をいただきました。

このことからまずは，生活環境や地域特性の近い柏の葉一丁目，二丁目，三丁目から構成される町会等と柏の葉キャンパス駅前周辺の柏の葉キャンパス一番街，二番街，ゲートタワーの3町会等で構成される計6町会等でコミュニティエリアを構成する案①を作成しました。

なお，基本的な考え方として，コミュニティエリアの区域を設定する場合は，町会を分断させることは行なわないということを前提としています。

ア 区域案①〈キャンパス駅周辺〉

田中・柏の葉コミュニティエリア(案) ①



< 区域案①の概要 >

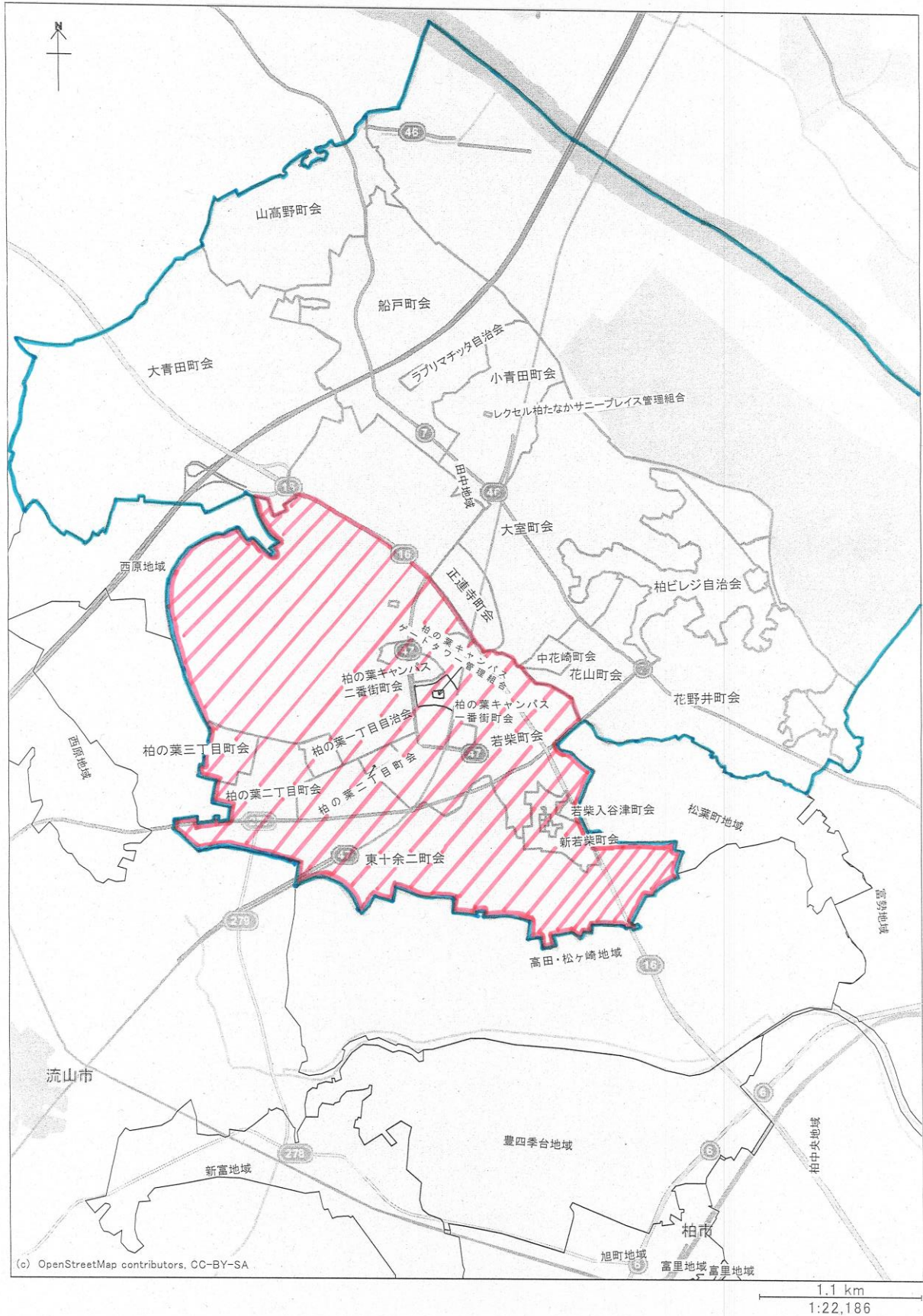
	柏の葉地域	田中地域
区域(町会名)	柏の葉一丁目 柏の葉二丁目 柏の葉三丁目 柏の葉キャンパス一番街 柏の葉キャンパス二番街 柏の葉ゲートタワー	柏市若柴 新若柴 若柴入津 東十余二 ほか 田中地域ふるさと協議会加入町会
人口	※1) 約 8,699 人	※2) 約 39,038 人
面積	約 2.74 km <sup>2</sup>	約 14.52 km <sup>2</sup>
地域資源	東京大学柏キャンパス 千葉大学柏の葉キャンパス 県立柏の葉高等学校 十余二小学校	田中北小学校 田中小学校 柏の葉小学校 田中中学校 柏の葉中学校 市立柏高等学校
特徴	▶ 人口集中している柏の葉キャンパス駅周辺を新設される地区災害対策本部で対応できるため、田中地域地区災害対策本部(近隣センター)の負担が軽減されるが、若柴町会等の町会が対策本部から距離があることは現状のとおり変わりません。 ▶ 柏の葉地域の人口は、約10,000人と小規模ですが、コミュニティエリアの規模としては他の地域と比較しても妥当と思われます。	

※1) 田中コミュニティエリア字別人口より町会別推定人口を積算したもの

※2) 現在の田中地域の人口から※1を引いたもの

# イ 区域案②〈16号線西〉

田中・柏の葉コミュニティエリア(案) ②



< 区域案②の概要 >

	柏の葉地域	田中地域
区域(町会名)	柏市若柴 新若柴 若柴入津 東十余二 柏の葉一丁目 柏の葉二丁目 柏の葉三丁目 柏の葉キャンパス一番街 柏の葉キャンパス二番街 柏の葉ゲートタワー	左の町会を除いた田中地域 ふるさと協議会加入町会
人口	※1) 約 22, 164 人	※2) 約 25, 573 人
面積	約 5. 04 km <sup>2</sup>	約 12. 22 km <sup>2</sup>
地域資源	東京大学柏キャンパス 千葉大学柏の葉キャンパス 県立柏の葉高等学校 柏の葉小学校 柏の葉中学校 十余二小学校	田中北小学校 田中小学校 田中中学校 市立柏高等学校
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ コミュニティエリアに先行し、民生委員児童委員協議会のエリアが分割されているため民生委員や地区社協の活動はそのまま移行できます。</li> <li>▶ 地区災害対策本部(近隣センター)の設置を考えると、国道16号を境とするため、情報収集等を行いやすいです。</li> <li>▶ 柏の葉地域、田中地域の人口は、ほぼ均等です。また、地理的にも国道16号で分かれ既に民生委員児童委員協議会がこの線引きで活動しており合理性があります。</li> </ul>	

※1) 田中コミュニティエリア字別人口より町会別推定人口を積算したもの

※2) 現在の田中地域の人口から※1を引いたもの

#### (4) 区域案①②における市の主な施策への影響

「健康・サポート」分野	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇フレイル対策の推進</li> <li>◇高齢者の社会・地域参加の促進</li> <li>◇地域包括ケアシステムの推進</li> <li>◇認知症対策の推進</li> </ul>
分割の影響	<p>◇主たる福祉政策は日常生活圏域（市内7圏域）をベースにしている。分割した場合、北部1圏域（田中、西原、（仮）柏の葉）における地域包括支援センターの担当エリアや設置場所等の検討が課題となる。（地域包括支援課）</p> <p>◇保健福祉部では日常生活圏域データを作成し、小圏域（＝コミュニティエリア）ごとの高齢者数や高齢化率を出している。田中地域の高齢化率は現在17位だが、分割するともっと上がると思われる。（高齢者支援課）</p> <p>地域の高齢化率等、実態に即した数字が示されることによって、高齢化に対する取り組みの必要性をより強く伝えることができる。（地域支援課）</p> <p>◇支えあい活動は、ふるさと協議会を中心に取り組まれているため、柏の葉地域の町会との関わりが薄い。仮称）柏市柏の葉地域ふるさと協議会として、市や社協と連携していけることが望ましい。</p> <p>（地域支援課）</p>
案①②の比較	<p>案①の場合、コミュニティエリアに先行し、民生委員・児童委員協議会エリアが分割されているため、民生委員や地区社協の活動はそのまま移行できる。</p>

「健康・サポート」分野	
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇フレイル対策の推進</li> <li>◇高齢者の社会・地域参加の促進</li> <li>◇地域包括ケアシステムの推進</li> <li>◇認知症対策の推進</li> </ul>
分割の影響	<p>◇主たる福祉政策は日常生活圏域（市内7圏域）をベースにしている。分割した場合、北部1圏域（田中、西原、（仮）柏の葉）における地域包括支援センターの担当エリアや設置場所等の検討が課題となる。（地域包括支援課）</p> <p>◇保健福祉部では日常生活圏域データを作成し、小圏域（＝コミュニティエリア）ごとの高齢者数や高齢化率を出している。田中地域の高齢化率は現在17位だが、分割するともっと上がると思われる。（高齢者支援課）</p> <p>地域の高齢化率等、実態に即した数字が示されることによって、高齢化に対する取り組みの必要性をより強く伝えることができる。（地域支援課）</p> <p>◇支えあい活動は、ふるさと協議会を中心に取り組まれているため、柏の葉地域の町会との関わりが薄い。仮称）柏市柏の葉地域ふるさと協議会として、市や社協と連携していけることが望ましい。</p> <p>（地域支援課）</p>
案①②の比較	<p>案①の場合、コミュニティエリアに先行し、民生委員・児童委員協議会エリアが分割されているため、民生委員や地区社協の活動はそのまま移行できる。</p>

## 「安全・安心」分野

主な取組	<p>◇地域防災力の向上</p> <p>◇地域防犯力の向上</p> <p>◇災害に備えた体制強化</p>
分割の影響	<p>◇地区災害対策本部は、各地域に1つ設置され、有事の際、地域内の情報収集や調査、地域住民と連携した防災活動を行うこととなっている。エリアが分割され、地区災害対策本部が新設されれば、災害時に地域の状況に応じたよりきめ細かい対応ができる。（防災安全課）</p> <p>◇現状では、田中地域は人口、町会数とも多く、地区災害対策本部の負担が大きくなっている。また、柏の葉エリアからは距離があり、町会との連絡調整に困難が予想されている。それぞれに地区災害対策本部が設置されることが望ましい。（地域支援課・田中近隣センター）</p>
①②案の比較	<p>◇案①の場合、人口集中している柏の葉キャンパス駅周辺を新設される地区災害対策本部（近隣センター）で対応できるため、田中地域地区災対の負担が軽減されるが若柴町会等の町会が対策本部から距離があるため対策に不安がある。</p> <p>案②の場合、地区災害対策本部の設置を考えると、国道16号線を境とするため、情報収集等を行いやすい。</p> <p>◇地域によっては震災時の避難訓練等をふるさと協議会単位で行っている。災害時に協力体制を組みやすい地域として分割されることが望ましい。</p>



## 7 田中・柏の葉コミュニティエリア検討会議での検討

検討会議の参加者は本計画「11資料(3)」参照

### (1) 第1回検討会議

開催日	平成30年6月23日(土)
議題	コミュニティエリアの新設について
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域が出来てきた歴史的な過程を大切に、これから10年後、20年後の先を見据えて考えたい。</li><li>・古くから根付いている方々との意識・生活習慣の差は大きい。</li><li>・将来6万人となる予想のコミュニティは現実的ではないためエリア見直しを行うべき。</li><li>・エリアを新しく作ったときに柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会との関わりも考える必要がある。</li><li>・人口が増えてくるのは事実だが、長年一緒にやってきた町会とは引き続き活動していきたい。</li></ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"><li>・コミュニティエリアの分割には前向きに考えていく。</li><li>・エリアの問題と実際に運営していく運営主体の問題がある。</li><li>・今後(将来)のコミュニティエリアについては緩く考えていくことも必要だろう。</li></ul>

### (2) 第2回検討会議

開催日	平成30年8月4日(土)
議題	境界(地区設定)について
主な意見	<ul style="list-style-type: none"><li>・何のためにコミュニティを設置するのかという原点に立ち返って、地域活動を損なわないようにすべき。</li><li>・案①か案②を考えるポイントは10年後をどう描くかである。</li><li>・民児協エリアが案②で実際に活動していることを考えると案②がよいのではと思う。</li><li>・案①がよい。10年後、将来的に案②のような形に移行できることが可能であれば今は案①でいきたい。</li><li>・この会で決まったものを理解してもらえない。希望は案①、将来的には案②というのが希望。</li></ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"><li>・コミュニティエリアの問題と同時にふるさと協議会を運営の話もしていけないといけな。</li><li>・案①をベースとして考え、案②の方向も将来的には見据えていく。</li></ul>

### (3) 第3回検討会議

開催日	平成30年9月22日(土)
議題	エリア分割の境界について／分割後の進め方と課題
主な意見	<p>「エリア分割の境界について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・案②が望ましいが、住民の意向を踏まえるならば5年後を目途に案②への移行を検討。</li> <li>・理想は案②。人口的にも面積的にも理想的だが、案①でお願いしたい。</li> <li>・コミュニティエリアの分割は了承いただいている。市の意見(移行案)に賛成。5年後というのはもう少し緩みをもたせて柔軟に考えられるようにすべき。</li> </ul> <p>「分割後の進め方と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュール案だと、2020年4月ふるさと協議会設立とあるが、ふるさと協議会ができてから何年後かに近隣センターができるのか。</li> </ul>
まとめ	<p>「エリア分割の境界について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的経緯を踏まえたうえで、案①で設定し、5年後をめどに案②に移行することとしたい。</li> <li>・5年後の移行は、状況を見て緩やかに判断する。</li> </ul> <p>「分割後の進め方と課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと協議会の設立については、まちづくり協議会との調整を含め、住民を中心に進めていく。</li> <li>・案①から案②へのコミュニティエリアの移行に向けては、10町会の連絡会を定期的で開催していく。</li> <li>・近隣センターの設置に向けて、地域の方の意向を反映して進めていく。</li> </ul>

## 8 方針

### (1) 柏の葉コミュニティエリアの設置

実施主体：柏市

柏の葉コミュニティエリアを設置します。

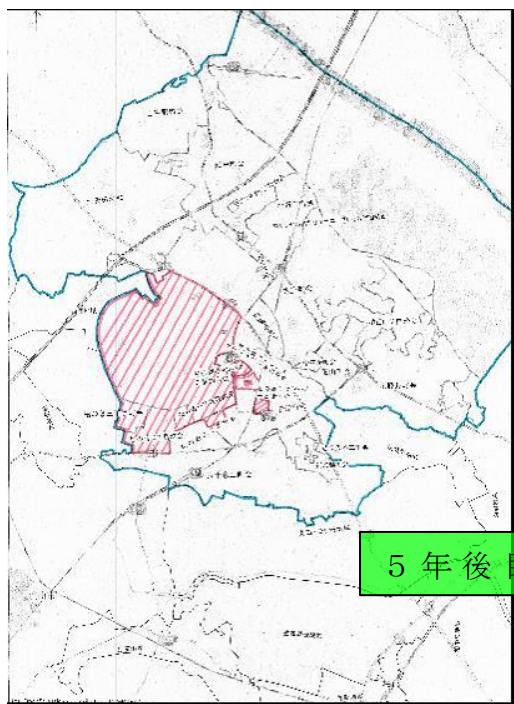
エリアの境界については、これまでの歴史的経緯や地域特性及び住民意識等を踏まえ柔軟に対応することとし、2期計画とします。

1期：平成31年度(2019年)から5年間を区域案①〈キャンパス駅周辺〉で設定

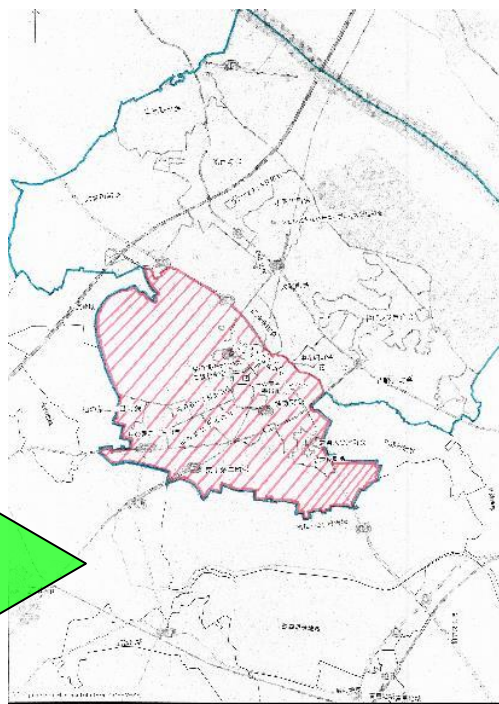
2期：おおむね5年後(平成36年度(2024年))をめどに該当町会の意向を踏まえ、区域案②〈国道16号西〉へ移行

平成31年度(2019年)から平成35年度(2023年)までの5年間を第1期とし、区域案①〈キャンパス駅周辺〉で設置します。

第1期から第2期までの期間は、移行に向け、10町会連絡会や検討会を実施し、住民意識の醸成等を見極めながら、平成36年度(2024年)をめどに、区域案②〈国道16号西〉へ移行します。



5年後目途に移行



まずは、案①のコミュニティエリアでスタート

案②のコミュニティエリアに移行

【田中・柏の葉コミュニティエリア設置計画期間】

平成(年)	31	32	33	34	35	36	37
西暦(年)	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
第1期 (期間5年)	案①のエリアで決定						
第2期						案②のエリアに移行	

(2) ふるさと協議会の設立

実施主体：町会，まちづくり協議会，UDCK

柏の葉コミュニティエリアの設置に伴い、「仮称)柏市柏の葉地域ふるさと協議会」を設立します。

柏市では、新旧住民のコミュニティ形成や郷土意識の希薄化が課題となる中、昭和50年代中頃より「ふるさと運動」と名付けられたコミュニティ施策を展開してきました。

ふるさと協議会は、昭和55年以降に地域の身近にある近隣センターを拠点として、行政と共にふるさと運動の推進とコミュニティの形成を行う団体として現在、各20地域に設立されている組織です。

各ふるさと協議会は、町会等の役員、民生委員児童委員など多様な構成員からなる組織で、町会の枠を超えた地域コミュニティの中心的担い手として環境、保健福祉、防災等の事業や地域課題など多岐にわたり取り組んでいます。

なお、「仮称)柏市柏の葉地域ふるさと協議会」は、平成32年(2020年)の設立を目指しています。(10:行程表参照)

市は、ふるさと協議会設立に向け、地域とともに研究及び支援を行ないます。

### (3) 近隣センターの整備

実施主体：柏市

コミュニティエリア及びふるさと協議会の設置に伴い、地域活動の拠点として柏の葉近隣センターを整備します。

これまで市では、コミュニティエリアごとに近隣センターを整備しており、コミュニティエリア及びふるさと協議会を設置した場合は、地域活動の拠点として整備をします。

なお、地域の実情、柏市公共施設等総合管理計画等のコミュニティ施設の適正配置等の観点から行政機能を付設した「A型近隣センター」、行政機能を付設しない「B型近隣センター」のいずれかは、別途検討を要します。

いずれにしても、近隣センター用地の取得、あり方等については、関係部署と十分協議するとともに地域住民、ふるさと協議会等のニーズを踏まえ整備していきます。

## 9 今後の課題

---

### (1) 柏の葉コミュニティエリア設置における課題

#### ア 仮称)柏市柏の葉地域ふるさと協議会と柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会との関係整理

実施主体：町会，まちづくり協議会，UDCK

現在、田中コミュニティエリア内に田中地域ふるさと協議会と柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会、柏の葉1丁目・2丁目・3丁目連絡会が活動しており「柏の葉コミュニティエリア」を決定した場合は、「柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会、柏の葉1丁目・2丁目・3丁目連絡会」と「仮称)柏市柏の葉地域ふるさと協議会」との整理を要します。

#### イ 民生委員児童委員協議会との調整

実施主体：柏市社会福祉協議会，民生委員児童委員協議会

民生委員児童委員協議会は、市内22地区に設置されています。田中地域の人口増が確実なことから平成24年度(2012年)に開校した柏の葉小学校の学区を中心に隣接した9町会で1つの区

域とした「田中・柏の葉地区民生委員児童委員協議会」が設置され既に活動を行っています。

担当の区域が決められており，福祉に関する相談等に応じ関係機関につなげるなどの支援活動も行っていることから，コミュニティエリアが移行する際及び(仮称)柏市柏の葉地域ふるさと協議会が設立された際は調整を要します。

#### ウ 効率的な行財政運営を踏まえた施設整備 実施主体：柏市

コミュニティエリア及びふるさと協議会の新設に伴い，地域活動の拠点として近隣センターの設置が必要となります。

一方で公共施設等総合管理計画「基本方針編」において，「施設機能の再編と総量の縮減」，「財産の活用と管理運営の縮減」がうたわれていることから，近隣センター設置の際は，国費や起債等の財源確保やランニングコストを意識した効率的な設備設計を図ります。

#### エ 地域活動の担い手不足

実施主体：柏市，町会，まちづくり協議会

「(仮称)柏市柏の葉地域ふるさと協議会」を設置するにあたり，各部門の担い手の選出等については，町会等への意見聴取の段階から懸念されています。

### (2) 今後の地域づくりのあり方 実施主体：ふるさと協議会

#### ア 新しい時代のふるさと協議会のあり方

ふるさと協議会は，ふるさと運動を推進し新旧住民の連帯感や地域の自治意識の向上を図るため，コミュニティ形成をはじめ，文化・体育・福祉・環境・防災防犯等，地域で多様な活動を展開してきました。このような活動は，市民の帰属意識を高め，地域のつながりづくりに大きく寄与してきたところです。

一方，少子高齢化の進展や防災防犯への危機意識の高まり等に対し，地域の共助による課題解決の役割が増しています。このような中，ふるさと協議会には，時代に即した取組みが期待されています。

#### イ コミュニティエリアと学区の不整合 実施主体：柏市

町会の区域を超えた広域の地域活動を行うにあたっては，学校

との連携が重要です。こども会は学校ごとに発足しており，登下校の見守り，災害時の学校避難所の対応など，学校を核とした地域活動は多々あります。

コミュニティエリアは設置当時から変更されていない一方，学区は固定されておらず，地域の児童・生徒数の増減に伴い変更しています。そのため，コミュニティエリアと学区が異なる地域が増えており，地域活動の大きな課題となっています。

## 10 今後の進め方

---

平成31年4月から「柏の葉コミュニティエリア」を決定し，21ヶ所目のコミュニティとして展開していきます。

あわせて，「ふるさと協議会の設立」及び「近隣センター等の整備」，「コミュニティエリア移行」の3点について次のとおり10町会連絡会や検討会等を実施していきます。

### (1) ふるさと協議会の設立

「9 今後の課題」のとおり，現在，田中コミュニティエリア内に田中地域ふるさと協議会と柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会，柏の葉1丁目・2丁目・3丁目連絡会が活動しているため，「柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会，柏の葉1丁目・2丁目・3丁目連絡会」と年3回～4回「仮称）柏市柏の葉地域ふるさと協議会設立検討会議」を開催し，協議会のあり方や各部門の担い手等について協議し「仮称）柏市柏の葉地域ふるさと協議会」の設置を目指します。

### (2) コミュニティエリア移行

平成36年（2024年）をめどに，柏の葉コミュニティエリアを，案②の地域まで拡大することを含めて検討するため，対象町会である10町会との意見交換等を実施し融和を図るとともに，平成34年度（2022年）には，移行準備会を発足し検討してまいります。

### (3) 近隣センター等の整備

「9(1)ウ効率的な行財政運営」を踏まえ、公共施設等総合管理計画に基づき、機能、設置場所も含め整備の検討を進めます。

また、整備の際には市民とのグループワーク等も実施し、市民との合意形成に基づいた整備をしてまいります。

### (4) 行程表

年度・項目	ふるさと協議会設立	コミュニティエリア移行	近隣センター等
実施者	町会・まちづくり協議会	市・町会	市
平成31年度(2019年) 4月～ コミュニティエリア決定			
平成31年度 (2019年)	意見交換 (柏の葉1～3丁目連絡会と まちづくり協議会ほか) 継続検討, 規約作成等	庁内検討会 10町会連絡会	庁内調整 (規模・機能・ 設置場所ほか)
平成32年度 (2020年)	ふるさと協議会設立 (連合会承認)	↑ ↓	↓
平成33年度 (2021年)			
平成34年度 (2022年)		移行準備会発足	
平成35年度 (2023年)		↑ ↓	● ● ●
平成36年度 (2024年)		案② コミュニティエリア移行	● ● ●



## 1 1 資料

### (1) 検討の経緯

	月日	件名	内容	対象
1	平成 29 年 6 月～7 月	関係部署意見聴取	エリア分割に対する意見聴取	企画調整課，防災安全課，保健福祉総務課，消費生活センター，地域健康づくり課，福祉活動推進課，柏市社会福祉協議会，学校教育課，企画調整課（UDCK 担当），高齢者支援課
2	平成 29 年 7 月 13 日	柏の葉コミュニティエリア情報共有会議	課題意識共有と意見交換	企画部長，企画部理事，都市部長，企画調整課長，北部整備部長
3	平成 29 年 9 月～ 平成 30 年 1 月	町会ヒヤリング	町会役員からの意見聴取	東十余二町会，新若柴町会，若柴町会，若柴入谷津町会，柏の葉一丁目自治会，柏の葉三丁目町会，柏の葉二丁目町会，UDCK，柏の葉キャンパス駅前まちづくり協議会，柏の葉キャンパス一番街自治会，柏の葉キャンパスゲートタワー管理組合，柏の葉キャンパス二番街自治会
4	平成 30 年 2 月 2 日	第 2 回 柏の葉コミュニティエリア情報共有会議	検討状況報告と意見交換	企画部長，企画部理事，都市部長，企画調整課長，北部整備課長ほか
5	平成 30 年 2 月 21 日	第 1 回 柏の葉コミュニティエリア新設に係る検討会議	検討状況報告と今後の進め方	防災安全課，財政課，資産管理課，企画調整課，行政改革推進課，市民課，消費生活センター，保健福祉総務課，高齢者支援課，福祉活動推進課，地域健康づくり課，子育て支援課，北部整備課，学校教育課，生涯学習課，柏市社会福祉協議会，田中近隣センター
6	平成 30 年 4 月～6 月	関係者説明	今後の進め方	柏市社会福祉協議会，柏市民生委員児童委員協議会（会長，田中地区会長，西原地域ふるさと協議会，田中・柏の葉地区民児協

7	平成 30 年 4 月～5 月	町会ヒヤリング (2巡目)	検討会議出 席依頼	柏の葉キャンパス一番街自治会, UDCK, 東十余二町会, 若柴町 会, 柏の葉キャンパス駅前まちづ くり協議会, ゲートタワー管理組合, 柏の葉一～三丁目連絡会, 柏の 葉キャンパス二番街町会
8	平成 30 年 4 月 17 日	関係部長説 明会	検討状況報 告と検討会議 参加依頼	企画部長, 市民生活部長保健福 祉部長, 都市部長, 企画調整課 長, 市民課長, 高齢者支援課長, 地域包括支援課長, 北部整備課 長, 柏市社会福祉協議会事務局 長
9	平成 30 年 6 月 23 日	第 1 回 田中・ 柏の葉コミュニ ティエリア検討 会議	コミュニティエ リアの新設につ いて	(田中・柏の葉コミュニティエリア検 討会議委員)
10	平成 30 年 8 月 4 日	第 2 回 田中・ 柏の葉コミュニ ティエリア検討 会議	境界(地区設 定)について	(田中・柏の葉コミュニティエリア検 討会議委員)
11	平成 30 年 9 月 5 日	第 2 回 柏の葉 コミュニティエ リア新設に係る 検討会議	検討会議の報 告と今後の進 め方について	防災安全課, 財政課, 資産管理 課, 企画調整課, 行政改革推進 課, 市民課, 消費生活センター, 社会福祉課, 高齢者支援課, 地 域包括支援課, 地域保健課, 子 育て支援課, 北部整備課, 学校 教育課, 生涯学習課, 柏市社会 福祉協議会, 田中近隣センター
12	平成 30 年 9 月 7 日	第 3 回 柏の葉 コミュニティエ リア情報共有会 議	(仮)柏の葉コ ミュニティエ リアの近隣セ ンター設置につ いて	企画部長, 企画部理事, 都市部 長, 企画調整課長, 北部整備課 長ほか
13	平成 30 年 9 月 22 日	第 3 回 田中・ 柏の葉コミュニ ティエリア検討 会議	第 1 回・第 2 回 検討会議から 課題と境界に ついて	(田中・柏の葉コミュニティエリア検 討会議委員)
14	平成 30 年 11 月 13 日	第 1 回 柏の葉 コミュニティエ リア庁内検討会 議	「柏の葉コミュ ニティエリア設 置計画」につ いて	副市長, 総務部長, 企画部長, 財 政部長, 市民生活部長, 保健福 祉部長, 保健所長, こども部長, 環境部長, 都市部長, 生涯学習 部長, 学校教育部長
15	平成 30 年 12 月～平成 31 年 1 月	パブリックコメ ント	設置計画 (案)について 意見募集	広報かしわ及び柏市オフィシャルウ ェブサイトで意見を募集

16	平成 31 年 2月 22日	第 2 回 柏 の 葉 コ ミ ュ ニ テ ィ エ リ ア 庁 内 検 討 会 議	「 柏 の 葉 コ ミ ュ ニ テ ィ エ リ ア 設 置 計 画 」 に つ い て	副 市 長 ， 総 務 部 長 ， 企 画 部 長 ， 財 政 部 長 ， 市 民 生 活 部 長 ， 保 健 福 祉 部 長 ， 保 健 所 長 ， こ ど も 部 長 ， 環 境 部 長 ， 都 市 部 長 ， 生 涯 学 習 部 長 ， 学 校 教 育 部 長
----	-------------------	--	--	---

## (2) 田中・柏の葉コミュニティエリア検討会議

### ア 設置要領

#### 田中・柏の葉コミュニティエリア検討会議設置要領

制定 平成30年5月10日

施行 平成30年5月10日

#### 1 趣旨

この要領は、田中地域コミュニティエリア内のコミュニティエリア新設を検討するために設置する。田中・柏の葉コミュニティエリア検討会議（以下「検討会議」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

#### 2 協議事項

検討会議は、次に掲げる事項を協議する。

- (1) 新たなコミュニティエリアの設置の検討
- (2) 新たなコミュニティエリアの境界の検討
- (3) 上記による課題の検討
- (4) その他必要と認める事項

#### 3 構成員

構成員は、次に掲げる者をもって充てる。

- (1) 別表第1に掲げる団体を代表する者
- (2) 別表第2に掲げる職にある者

#### 4 委員長及び副委員長

検討会議に委員長及び副委員長各1名を置き、委員の互選によりこれを定める。

- (1) 委員長は、会務を総理し、検討会議を代表する。
- (2) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

#### 5 委員の責務

委員は、その代表する団体に対し、会議の内容を伝えるとともに、会議の決定事項について協力を要請するものとする。

#### 6 事務局

検討会議の事務局は、地域支援課に置く。

#### 7 この要領に定めるもののほか必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

## 附 則

この要領は、平成30年5月10日から施行する。

### 別表第1

<b>【地域団体】</b>
田中地域ふるさと協議会
柏市ふるさと協議会連合会
柏市若柴町会
新若柴町会
若柴入谷津町会
東十余二町会
柏の葉一丁目自治会
柏の葉二丁目町会
柏の葉三丁目町会
柏の葉キャンパス一番街町会
柏の葉キャンパス二番街町会
柏の葉キャンパスゲートタワー管理組合
<b>【関係団体】</b>
柏市社会福祉協議会
柏の葉アーバンデザインセンター

### 別表第2

<b>【学識経験】</b>
麗澤大学経済学部教授（コミュニティ研究）
<b>【行政】</b>
企画部長
市民生活部長
都市部長
保健福祉部長
地域づくり推進部長

## イ 委員名簿

名 称	役 職	氏 名
柏市ふるさと協議会連合会	会 長	根 本 利 治
柏市田中地域ふるさと協議会	会 長	竹 之 内 明
柏 市 若 柴 町 会	会 長	増 田 明
新 若 柴 町 会	会 長	伊 藤 孝
若 柴 入 谷 津 町 会	会 長	小 杉 忠 直
東 十 余 二 町 会	会 長	増 田 勝 美
柏 の 葉 一 丁 目 自 治 会	会 長	金 井 哲 治
柏 の 葉 二 丁 目 町 会	会 長	米 山 諭
柏 の 葉 三 丁 目 町 会	会 長	石 毛 伸
柏 の 葉 キャンパス一番街町会	会 長	篠 原 景 子
柏 の 葉 キャンパス二番街町会	会 長	山 境 秀 文
柏の葉キャンパスゲートタワー管理組合	理 事 長	武 田 紘 輔
柏 市 社 会 福 祉 協 議 会	事 務 局 長	秋 山 亨 克
柏 の 葉 アーバンデザインセンター	副センター長	三 牧 浩 也
麗 澤 大 学 経 済 学 部	教 授	大 野 正 英
企 画 部	部 長	飯 田 晃 一
市 民 生 活 部	部 長	篠 原 忠 良
保 健 福 祉 部	部 長	宮 島 浩 二
都 市 部	部 長	南 條 洋 介
事 務 局		
地 域 づ く り 推 進 部	部 長	高 橋 直 資
田 中 近 隣 セ ン タ ー	所 長	西 内 恵 一
地 域 支 援 課	課 長	沖 本 由 季
〃	主 幹	染 谷 和 広
〃	主 査	老 川 景
〃	主 事	本 間 勇 佑
〃	主 事	土 屋 大 雄

## ウ 開催状況

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
第1回検討会議 6/23(土)		第2回検討会議 8/4(土)	第3回検討会議 9/22(土)	庁内検討			
	検討会議			まとめ		パブリックコメント	決定
開催年月日	平成30年6月23日(土) 田中近隣センター会議室		平成30年8月4日(土) 東葛テクノプラザ第2研修室		平成30年9月22日(土) 東葛テクノプラザ第1研修室		
	午前10時～12時		午前10時～12時		午前10時～12時		

### (3) パブリックコメント結果

#### ア 募集期間

平成30年12月1日～平成31年1月4日

#### イ 募集媒体

広報かしわ12月1日号

柏市オフィシャルウェブサイト

#### ウ 件数

4名13件（その他匿名2名有）

#### エ 主な意見

No.	主な御意見	市の考え方
1	計画案P.24の枠内について、「2期：該当町会（田中ふるさと協議会に属している若柴，新若柴，若柴入谷津，東十余二町会）は，おおむね5年後までに区域案②へ移行するかどうかの意向を決める。」へ修正してもらいたい。	御意見のとおり，区域案②へ移行する際に，該当町会の意向を踏まえる旨を記載いたします。

2	<p>計画案 P. 18, 24 の文中の「国道 16 号西」の表現について、若柴町会を分割するようと思われるため、記載を削除してもらいたい。</p>	<p>「国道 16 号西」の表現については、エリア分けの基本的な考え方として、町会を分断しないということから、国道 16 号を境に町会を分割することはありません。計画内にその旨を明記し、「国道 16 号西」の表記はそのままとさせていただきます。</p>
3	<p>現在のコミュニティエリアにとらわれず、現在の課題に対応した新たなコミュニティエリアを形成するのがよい。</p>	<p>コミュニティエリアの設定については、中学校区に 1 コミュニティエリアと言う考えにより、柏の葉コミュニティエリアを設置します。地域課題は、隣接する町会等で共通する部分も多いことから、また、今後市の施策展開を円滑に実施し、きめ細やかなサービスを提供することからも、田中地域を分割することが必要と考えます。</p>
4	<p>近隣センターは、ふるさと協議会の附帯施設という考えをやめ、必要なら増設すればよい。</p>	<p>近隣センターについては、地域コミュニティの拠点として、1 コミュニティエリアに、1 近隣センターを設置します。なお、近隣センターの機能については、今後、市民の意見を聞きながら、市民ニーズを踏まえた整備を行いません。</p>



5	<p>エリア新設については賛成だが，ふるさと協議会というものではなく，町会連絡会の機能があれば十分ではないか。</p>	<p>ふるさと協議会は，昭和55年から地域特性を生かし，心のふれあう住みよいまちづくりを市民と行政が一体となって推進していく「ふるさと運動」の取り組みを行なってまいりました。ふるさと協議会においては，地域の課題解決だけでなく，市民の郷土愛や連帯意識を高め，よりコミュニティの活性を目指すことから，重要な役割を担っていると考えます。</p>
6	<p>計画内に，コミュニティエリア設置後の行政の支援，サポート内容を具体化し，盛り込むべきである。</p>	<p>市としましては，ふるさと協議会の設立に関して，設立検討会議を定期的に開催します。設立後においても，協議会等と随時連携を図りながら，意向を踏まえた支援を行ないます。</p>
7	<p>住民や参加組織の負担について，住民への丁寧な説明を行なうべきである。</p>	<p>住民への説明については，これまで，関係町会へ回り，ヒアリングや状況報告を行なってまいりました。御意見のとおり，今後においても，検討会や勉強会の中で，丁寧な説明が必要であると考えます。</p>
8	<p>行政として，新コミュニティエリア発足から完了までのフォローを行なうこと。また，移行期間の5年間についても，柔軟に随時見直しを行なった方がよい。</p>	<p>新コミュニティエリア発足後においても，区域案②へ移行するまでは，移行準備会を設置し，円滑にコミュニティ活動を行なえるよう支援します。また，移行期間は5年後を目途としながらも柔軟に対応します。</p>

9	新規建設の大規模マンションの町会設立，地域コミュニティ加入に対し，行政が支援する体制を整えるべきである。	大規模マンションや賃貸住宅等の町会設立（加入）や，地域コミュニティの加入に関しては，市としまでも大きな課題であると認識しています。
10	新コミュニティエリア設置による町会等の加入率への影響を検討するべきではないか。また，特に柏の葉地域は賃貸住宅も多いため，賃貸住宅居住者への町会活動等への参加促進を図る必要があるのではないか。	これらについては，柏の葉地域のみならず，市全体の問題でもあります。現在も加入促進は行なっておりますが，今後，改めて検討し，取り組んでまいります。
11	P. 28, 10 今後の進め方（2）コミュニティエリアについて，おおよそ5年後をめどに移行する形はよいと思うが，移行時には，エリア内の新規マンションの意見も反映するよう，また，移行準備会への参加を促し，新設されるふるさと協議会への参加についても加入するよう，行政の対応をお願いしたい。	新規マンションにおいては，御意見のとおり，町会設立の支援，移行準備会の参加やふるさと協議会への加入を促していきたいと考えます。これらへの参加をしていただくことにより，新規マンションの住民の意見の反映も可能となるのではないかと考えます。
12	P. 28, 10 今後の進め方（3）近隣センター等の整備については，柏の葉サービスコーナーの利便性を加味したうえで，機能も含めよく検討し，整備していただきたい。（柏の葉サービスコーナーは維持して欲しい。）	近隣センターについては，地域コミュニティの拠点として，1コミュニティエリアに，1近隣センターを設置します。なお，近隣センターの機能については（柏の葉サービスコーナーの機能も含めた），今後，既存施設との整合を図りつつ，市民の御意見を聞き，市民ニーズを踏まえた整備を行ないます。

13	<p>P. 28, 10 今後の進め方 (3) 近隣センター等の整備については、ふるさと協議会設置後、できるだけ早く近隣センターを設置してください。</p>	<p>近隣センターは、地域コミュニティの拠点ということからも、すみやかな設置に努めてまいります。</p>
----	--	--